

かみじま歴史探訪

郷土の先輩たちシリーズ ⑬

孤島からも先駆的な医師村上純祥が…

『越智郡郷土人物伝』（越智郡校長会発行、昭和四十三年刊）には、幕末に生名村の庄屋、維新後には村長や愛媛県議として活躍した村上寛治に続いてその弟、純祥についても次のように紹介されています。

「（一、略伝）安政四（一八五七）年七月一日、生名村村上助九郎（柳平）の五男として生まれ、幼名を住太郎といった。東京帝国大学医学部の第一回の卒業生で、その後尾道市土堂町に町始まつて以来最初の鉄筋コンクリート建ての病院を建てた。

（二、逸話）漢学や書道をよくし、『医は仁術』を身をもって実行したので、当時人々に名士として尊敬された。現在も孫三人が病院を引き継ぎ繁栄をつづけている。」尾道市でも著名な村上上医院（医療法人 社団 純鼎会）の創設者です。

郷土には「東大医学部の第一期生で、軍医総監を勤め、文学界でも活躍した森鷗外と同期生」との伝承があります。二人の足跡を追ってみましょう。

鷗外は文久二（一八六二）年に津和野藩（現島根県）の藩医の家に生まれ、明治五年に上京して洋学塾に入学、十二歳で東大の前身、東京医学学校の予科に入学、明治八年本科に進み同十四年に卒業しています。（森鷗外、明治人の生き方）山崎一穎）。



医学書『飯のあちはひ』

東京大学は、明治十年に東京医学校と東京開成学校が併合されて四学部で構成、大学予備門（予科）も統括され、のち東京帝国大学と改称されています。一方、純祥医師の生家には、次のような医師免許状（写し）が保存されています。

「医師開業免状」

愛媛県平民村上純祥 安政四（一八五七）年七月生

明治十八年一月、東京大学ニオイテ受領シタル医学全科卒業ノ証書ヲ確認ス 因テ明治十六年第三十五号布告医師免許規則ニ拠リコノ免許ヲ授与ス 明治十九年三月二十三日

森鷗外は明治十四年の卒業ですから、鷗外の方が東大の先輩で、純祥医師は東大の医学部の第一期生ではありません。年齢は鷗外より六歳年長で、実家に残されている学事関係資料によると、東大入学以前の履歴は次のようです。

明治九年七月 広島師範学校「師範科第四級卒業候事」
同年六月「大阪師範学校第一級二進ミ候事」
同校卒業後、高知県下に奉職、同十二年に「依願解任」

その後、徳島師範学校（付属小学校）にも勤務したらしく、親戚筋の村上致祥（のち第二代生名村長就任）の履歴書には、同十三年一月まで徳島市の純祥のもとで「普通学ヲ修ム」と記載されています。（篤行奇特者ニ関スル書類、「生名村誌」「人物編、村上純祥の医師免許証」）

目下、司馬遼太郎の『坂の上の雲』は、NHKのテレビドラマで注目を集めています。松山出身の秋山好古（安政六年生）も陸軍士官学校に入学する以前に、純祥が進学した大阪師範学校で学びやはり教職に就いています。

明治八年大阪師範学校受験、入学

同 九年同校卒業。大阪府北河内（現寝屋川市堀溝）五十八番小学校、名古屋師範学校付属小学校勤務

同 十年陸軍士官学校入学、同十二年卒業

こうして秋山好古と村上純祥は共に大阪師範学校に一年違いで進学、いったん教職に就いているのです。このように、当時、希望に燃えた多くの若者たちが師範学校に進んだのは、学費の負担が少なかつ

たからのです。

広島と大阪の師範学校で学び、教職にも就きながら、医学界に身を投じた純祥医師は、尾道市でさきの評伝のように活躍し、多くの医学書も出版しています。

『看病心得草』（村上純祥述・村上仲八記、国立国会図書館蔵）

『看病人』（村上純祥著）

『妊婦養生談』（同）

『飯のあちはひ（あじわい）』（同、発行者村上鼎、大正十三年初版）

『飯のあちはひ』には、文部大臣鳩山一郎等が題字を寄せています。この医学書の最初には「明治十八年東京大学を出て当地に住み：昼夜兼行で診療に努力：食事不規律の日常生活となり、とうとう慢性の胃腸病にかかり：ついに食事改善を思い立ち：」と出版の動機を書き記しています。こうした貴重な体験からの著書でした。また修養団体の「求道会」の会長としても活躍されています。一方では明治三十年に、次のような「奨学寄付願」を生名村に提出しています。

「永遠之ヲ保管利殖シ、ソノ利子ヲモッテ左ノ事項へ使用」

一、学生ニ就学用具ノ給与
一、中学校・商船学校・商業学校・職工学校・医学学校ソノ外中等学校以上ノ学事ヲ修メンタメ学

資乏シキ者ヲ扶助スル事（同前）
いち早く「奨学制度」も推進した純祥医師が、生涯を閉じられたのは昭和十年一月二十五日で、純祥夫妻の墓碑は故郷の墓地（正福寺）の尾道市に面した丘に立っています。



村上純祥夫妻の墓

弓削商船高専・岡山商科大学名誉教授

村上 貢 稿

上島町 3月 行事カレンダー

1日 火	弓削高等学校卒業式、人権相談（生名3分団集会所9:00～12:00）、スポレク体育館休館、郷土館休館
2日 水	
3日 木	
4日 金	第1回上島町議会全員協議会
5日 土	
6日 日	
7日 月	
8日 火	スポレク体育館休館、郷土館休館
9日 水	
10日 木	第1回上島町議会定例会1日目、心配ごと相談（弓削開発センター10:00～12:00）
11日 金	弓削商船高等専門学校卒業式
12日 土	
13日 日	いきな島一周マラソン大会（9:30～）
14日 月	潮湯休館
15日 火	行政・人権・心配ごと相談（岩城生活文化センター9:00～12:00）、スポレク体育館休館、郷土館休館
16日 水	行政相談（せとうち交流館9:00～12:00）
17日 木	各中学校卒業式、行政相談（生名公民館10:00～12:00）
18日 金	第1回上島町議会定例会2日目
19日 土	
20日 日	
21日 月	春分の日 潮湯休館、郷土館休館
22日 火	スポレク体育館休館、郷土館休館
23日 水	
24日 木	各小学校卒業式
25日 金	
26日 土	
27日 日	
28日 月	各保育所卒園式、潮湯休館
29日 火	スポレク体育館休館、郷土館休館
30日 水	
31日 木	

戸籍だより 1月分

婚姻 いつまでもお幸せに

よしだ 吉田 学（弓削）♡ ながもと あき な 永本亜希菜（広島）

出生 おめでとうございます

さかがみ 坂上 莉望 将人・公代（弓削）

死亡 ご冥福をお祈りいたします

くろせ 黒瀬 弘孝	1月3日	74歳（岩城）
うえもり 上森 淳也	1月6日	74歳（弓削）
あおき 青木 トキコ	1月9日	106歳（弓削）
しまもと 島本 一	1月18日	78歳（岩城）
やまもと 山本 エツ子	1月21日	71歳（岩城）
はまもと 濱元 豊	1月24日	61歳（岩城）
はやし 林 米一	1月28日	77歳（岩城）

人口の動き 平成23年1月31日現在

区分	男	女	合計	世帯数
弓削	1,656 (▲3)	1,736 (1)	3,392 (▲2)	1,801 (▲2)
生名	836 (▲1)	973 (1)	1,809 (0)	897 (1)
岩城	1,040 (▲7)	1,047 (▲5)	2,087 (▲12)	959 (▲4)
魚島	118 (▲1)	117 (0)	235 (▲1)	135 (0)
合計	3,650 (▲12)	3,873 (▲3)	7,523 (▲15)	3,792 (▲5)

（ ）内は前月比

※戸籍だよりにつきましては、上島町各総合支所窓口へ届け出にいられた方で、掲載の了解をいただいた方のみを掲載しています。なお、町内外の方で掲載をご希望の方は、上島町各総合支所住民課へご連絡ください。

■弓削総合支所	住民課	TEL 0897-77-2500
■生名総合支所	住民課	TEL 0897-76-3000
■岩城総合支所	住民課	TEL 0897-75-2500
■魚島総合支所	住民課	TEL 0897-78-0011

FESPA インランド・シー・リゾート 「フェスパ」に決定しました！

昨年8月に公募していました、離島体験滞在交流施設の名称に多数の募集があり、選考の結果、インランド・シー・リゾート「フェスパ」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

◆応募者 田中克尚 様（今治市）

◆名称の意味 【インランド・シー・リゾート】…インランドとは「内海（瀬戸内海）」という意味で、日本のエーゲ海ともいわれ、国内外で注目を浴びつつある瀬戸内海のほぼ真ん中に位置する上島町（弓削島）でゆっくりと余暇を過ごしていただきたいという思いから、この「インランド・シー・リゾート」という言葉を取り入れました。
【フェスパ（Fespa）】…フェスパとは、法王（皇）の休日Festa del Papi（フェスタ・ディ・パーピ）というイタリア語をより親しみやすく覚えやすく略した造語です。また、「法王（皇）」とは、充実した人生を送りたい現代人をイメージし、現代人がリフレッシュでき、学べ、明日への活力としてエネルギーを蓄積できる場所」という意味から「フェスパ」と名づけました。上島町弓削島の本施設は、眼下に白砂青松の愛媛県指定名勝「法王ヶ原」が広がる美しい景勝地です。

【グランドオープン】平成23年5月22日（日）



イメージ図